

- 設立発起人の候補にご相談をし始めました。
- 現在活発化チームで進めているのは「国内IGF活動の運営団体の設立」「国内IGF活動の運営体制の整備」ですが、設立発起人の候補となり得る企業や団体にとっては「来年に迫っている、日本に招致した大規模国際会議(IGF2023)が滞りなく開催されるか」が気になることが明らかになりました。(開催に当たり協賛などを招請されるのが常であるため)
- 総務省と打ち合わせたところ、IGF開催に当たって民間からの協賛も得る必要があるため、実行委員会(この文書上での仮称)のような組織を立ち上げて行くとのこと。
- 運営団体にご参画いただきたい企業・団体は、実行委員会にご参加になる企業・団体と大きくオーバーラップすることは明らかで、2つを合わせてお願いするほうが良さそうです。
- 更には「IGF2023への協賛+会合成功に向けた活動」を当座のメインに据えるほうが、話が分かり易く、IGF2023を間近で体験した後であれば、IGF活動をきちんと理解した上で国内IGF活動の運営体制を構築することができそうです。
- そこで、今後以下のような方針で本件を進めたく、確認をお願いします。
 - 活発化チームとしての、運営団体設立に向けた活動は一旦休止し、総務省の実行委員会組成に向けた活動に協力する
 - IGF2023までの間、活発化チームが国内IGF活動(NRI)の運営組織(main organizers / Multistakeholder Organizing Team)として対応する。
 - フォーラムと運営団体の責任分解などの議論は必要であれば継続する

以上